

コード進行

01

I IV V III m I IV V

のコード進行

Key=Cの場合

Diagram showing fingerings for C, F, and G chords in C major. The first row shows C (fingerings 1, 2, 3), C (fingerings 1, 2, 3), F (fingerings 1, 2, 3), and G (fingerings 1, 2, 3). The second row shows Em (fingerings 1, 2, 3), C (fingerings 1, 2, 3), F (fingerings 1, 2, 3), and G (fingerings 1, 2, 3).

Key=Cのスリー・コードであるC、F、Gを中心とし、そこに5小節目でEmを入れて若干の変化を付けてみた。しかし、全体的にはシンプルな進行である。

ヴォイシング I

add9を多用した浮遊感のあるヴォイシング

CD TRACK
01

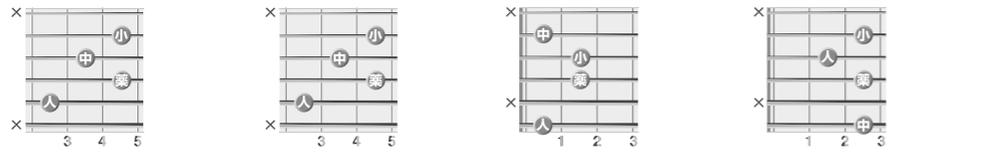
Diagram showing fingerings and voicings for Cadd9, Fadd9, and Gadd9 chords. The first row shows Cadd9 (fingerings 1, 2, 3), Cadd9 (fingerings 1, 2, 3), Fadd9 (fingerings 1, 2, 3), and Gadd9 (fingerings 3, 4, 5). The second row shows Em7 (fingerings 2, 3, 4), Cadd9 (fingerings 1, 2, 3), Fadd9 (fingerings 3, 4, 5, 6), and Gadd9 (fingerings 5, 6, 7, 8).

Two musical staves showing the voicings for Cadd9, Fadd9, and Gadd9 chords. The first staff shows Cadd9, Cadd9, Fadd9, and Gadd9. The second staff shows Em7, Cadd9, Fadd9, and Gadd9.

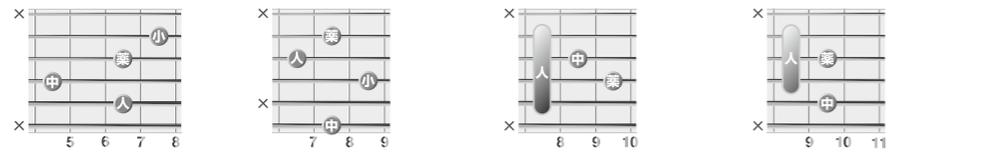
2度 (=9度) の音を加えたadd9のヴォイシングを、5小節目のEm7を除いたすべてのコードに連ねてみた。3~4小節目と7~8小節目のFadd9からGadd9へは、どちらも左手を2フレットずらすだけなので難しくないはず。add9の響きを体感してみよう。

▶ ヴォイシング2

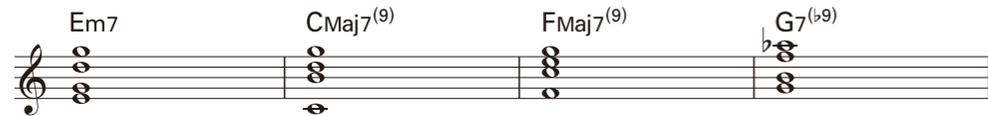
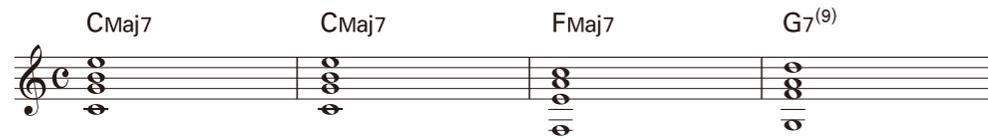
9thをテンションとして用いたヴォイシング

CD
TRACK
02

CMaj7 CMaj7 FMaj7 G7⁽⁹⁾



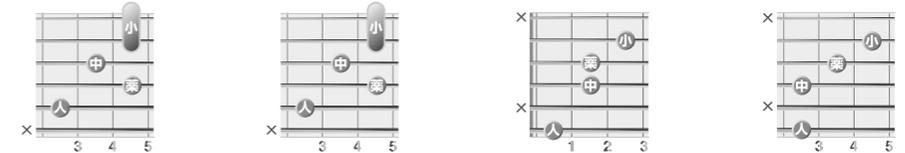
Em7 CMaj7⁽⁹⁾ FMaj7⁽⁹⁾ G7^(b9)



3小節目までメジャー・セブンス・コードが続くも、その後は9thをテンションとして盛り込んだコードを5小節目のEm7以外で組み入れてみた。しかも、最後のG7では9thを半音下げた^b9th=A^b音(2弦9フレット)も登場してくる。

▶ ヴォイシング3

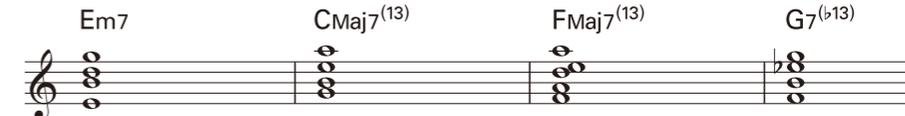
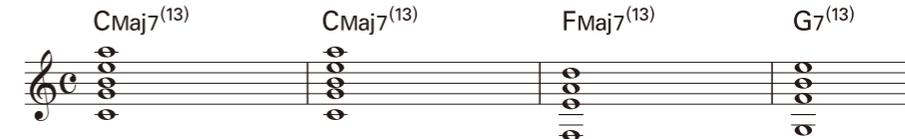
13thを使ったヴォイシング

CD
TRACK
03

CMaj7⁽¹³⁾ CMaj7⁽¹³⁾ FMaj7⁽¹³⁾ G7⁽¹³⁾



Em7 CMaj7⁽¹³⁾ FMaj7⁽¹³⁾ G7^(b13)



5小節目のEm7を除いて、すべて13thを組み入れたヴォイシングで、加えて最後では半音下げた^b13th=E^b音(3弦8フレット)も入れてみた。ちなみに、シックス・コードとの違いは、コード内にメジャー・セブンスやセブンスの音があるかないかの違い(ない方がシックス・コード)。

▶ ヴォイシング4

開放弦を用いてテンションを組み入れたヴォイシング

CD
TRACK
04

Voicing 1

Voicing 2

Voicing 3

Voicing 4

Voicing 5

Voicing 6

Voicing 7

CMaj7 CMaj7 FMaj7⁽¹³⁾ G7^(9,11,13)

Em7⁽⁹⁾ CMaj7^(9,13) FMaj7^(#11) G7^(b9,13)

CMaj7⁽¹³⁾ CMaj7⁽¹³⁾ FMaj7⁽¹³⁾ G7^(9,11,13)

Em7⁽⁹⁾ CMaj7^(9,13) FMaj7^(#11) G7^(b9,13)

開放弦を用いたギターならではのヴォイシング。最初のCMaj7はテンションこそないが、3弦4フレット=B音と2弦1フレット=C音が半音でぶつかっているのが特徴。ちなみに、4小節目のG7(9,11,13)はFMaj7/Gと分数コードで表記される場合もある。

▶ ヴォイシング5

9thと13thを組み合わせたヴォイシング

CD
TRACK
05

Voicing 1

Voicing 2

Voicing 3

Voicing 4

Voicing 5

Voicing 6

Voicing 7

C6⁽⁹⁾ C6⁽⁹⁾ FMaj7^(9,13) G7^(9,13)

Em7⁽¹³⁾ CMaj7^(9,13) FMaj7^(9,13) G7^(b9,b13)

C6⁽⁹⁾ C6⁽⁹⁾ FMaj7^(9,13) G7^(9,13)

Em7⁽¹³⁾ CMaj7^(9,13) FMaj7^(9,13) G7^(b9,b13)

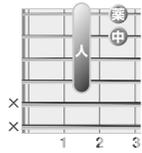
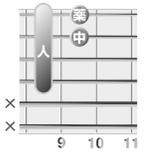
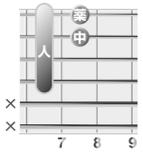
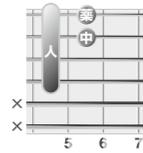
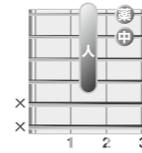
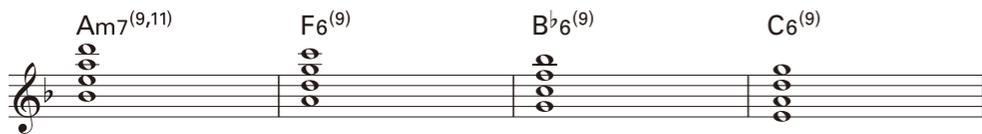
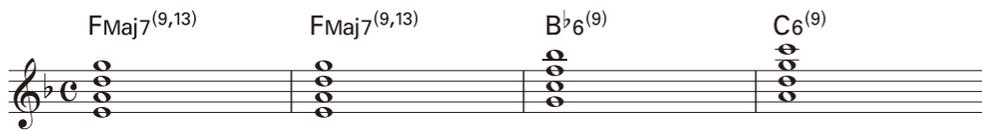
5小節目以外はすべて9thと6th、または9thと13thを組み合わせたコード・ワーク。最後はそのふたつのテンションが半音下がっての^b9th=A^b音(1弦4フレット)と^b13th=E^b音(2弦4フレット)にもしてみた。また、5小節目のEm7⁽¹³⁾も2弦と3弦が半音ぶついているのも特徴的。

▶ ヴォイシング6

4度音程を連続させたヴォイシング

CD
TRACK
06

Key = F

FMaj7^(9,13)FMaj7^(9,13)B^b6⁽⁹⁾C6⁽⁹⁾Am7^(9,11)F6⁽⁹⁾B^b6⁽⁹⁾C6⁽⁹⁾

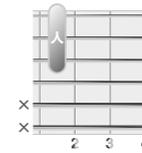
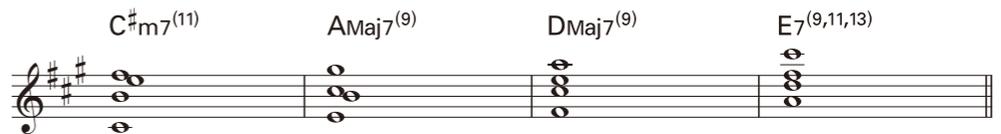
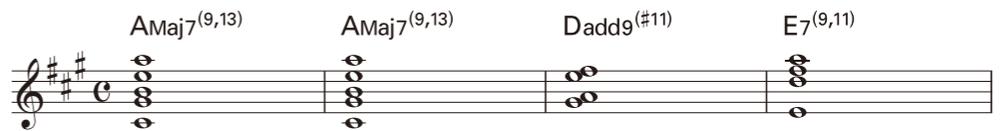
すべて4度音程からなる4声ヴォイシングを、左手フォームはそのままコードに合わせてずらしていった例。3&7小節目のB^b6⁽⁹⁾、それに4小節目のC6⁽⁹⁾と5小節目のAm7⁽¹¹⁾は、コードの3度の音が省かれているので、メジャーともマイナーともつかない中性的な響きを感じられるはず。

▶ ヴォイシング7

最低音がテンションになるヴォイシング

CD
TRACK
07

Key = A

AMaj7⁽⁹⁾AMaj7⁽⁹⁾Dadd9^(#11)E7^(9,11)C[#]m7⁽¹¹⁾AMaj7⁽⁹⁾DMaj7⁽⁹⁾E7^(9,11,13)

1小節目は見慣れない人にとっては新鮮だろうし、3小節目の[#]11thを一番下に持って来たワイド・ストレッチはさらなる斬新さを感じるはず。6小節目のAMaj7⁽⁹⁾は、次の7&8小節目がルート抜きなのでルートを入れなかったが、もしのルートを鳴らしたかったら5弦開放を弾けばいい。

コード進行

06

Im Im7(b5) V7 Im Im7/bVII bVI V7

のコード進行

Key=Amの場合

Am Dm Bm7(b5) E7

Am Am7/G F E7

マイナー・キーでよく見かける進行だ。前半4小節はポップス系からジャズ系まで広く使われている。加えて後半4小節はロック系においても多く登場する王道のパターンで、ベースがA音→G音→F音→E音と下りてくるのがポイントである。

ヴォイシング1

フックの効いたテンション使い

CD TRACK 36

AmMaj7(9,11) Dm7(9) Bm7(b5,9) E7(b13)

Am7(9) Am7(11)/G FMaj7(#11,13) E7(b9)

AmMaj7(9,11) Dm7(9) Bm7(b5,9) E7(b13)

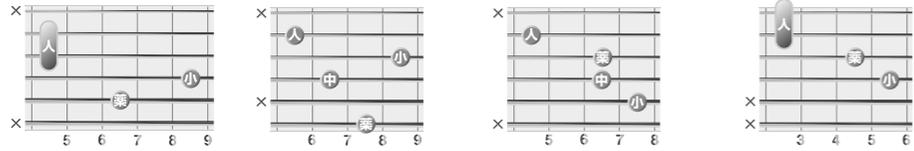
Am7(9) Am7(11)/G FMaj7(#11,13) E7(b9)

1小節目ではMaj7thのG[#]音を入れてみたが、ありそうでなかなか見かけないフォームだろう。3小節目は9thのC[#]音（3弦6フレット）の響きがフックになっている。6～7小節目は4度ヴォイシングを連続させてあるので、調性感やコードのメジャーやマイナー感が若干希薄に感じられるかも。

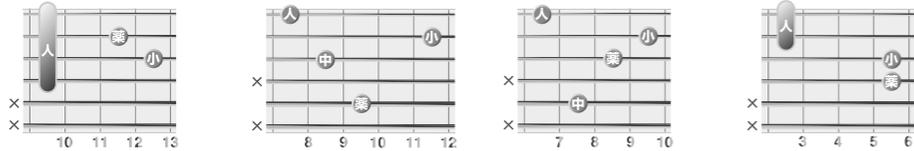
▶ ヴォイシング2

越境覚悟のポジション・ジャンプ

CD TRACK 37



Amadd9 | Dm7⁽⁹⁾ | Bm7^(b5,11) | E7^(#9,b13)



AmMaj7^(9,11) | Am7⁽⁹⁾/G | FMaj7^(#11) | E7^(#9,13)

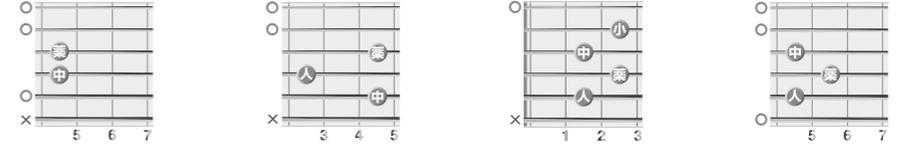


2小節目のDm7⁽⁹⁾は6弦に^b7thであるC音を持って来た転回型。4小節目の3フレットから5小節目の10フレットへのポジション移動はかなり難儀だが、どちらも実はさほど難度が高くないフォームだ。6~7小節目は4弦オミットのヴォイシングで連結させてあるのもポイント。

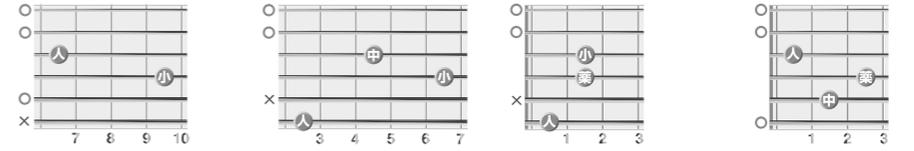
▶ ヴォイシング3

オープン・コードを使ったマジカルなヴォイシング

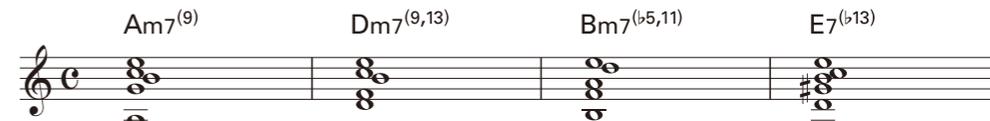
CD TRACK 38



Am7⁽⁹⁾ | Dm7^(9,13) | Bm7^(b5,11) | E7^(b13)



Am7^(9,11) | Am7⁽⁹⁾/G | FMaj7^(#11) | E7^(b9)



Aマイナーは開放弦を組み入れたコードが実に効果的に使えるキーでもある。各コードのルートである低音を別にすれば、3小節目だけは1弦開放のみで、他はすべて1&2弦の開放が鳴っている。これらがさまざまなコード音やテンション・ノートへ移り変わっていくのが、オープン・コードの魅力だ。

▶ ヴォイシング4

和音の使者から授かったマル秘パターン

CD TRACK 39

Am7⁽⁹⁾ Dm7⁽⁹⁾ Bm7^(♭5,11) E7^(♯9,♭13)

Am7^(9,11) Am7^(9,11)/G FMaj7^(♯11,13) E7^(♯9)

Am7⁽⁹⁾ Dm7⁽⁹⁾ Bm7^(♭5,11) E7^(♯9,♭13)

Am7^(9,11) Am7^(9,11)/G FMaj7^(♯11,13) E7^(♯9)

5~6小節目はベース楽器がA音→G音と弾くのを利用して、あえてフォームを変えずにステイ。しかも次の7小節目は5弦のみ半音上げただけというワイド・ストレッチながらエコな運指が魅力。か。ただし、ラスト8小節目では1&3弦を人差指斜めバレー押弦の禁断フォームが待ち構えているぞ！

▶ ヴォイシング5

仏様も腰を抜かす[♭]9thと[♯]9thの混在

CD TRACK 40

Am7⁽¹¹⁾ Dm7⁽¹¹⁾ Bm7^(♭5,11) E7^(♭9,11,♭13)

Amadd9 Am7⁽⁹⁾/G FMaj7^(9,13) E7^(♭9,♯9)

Am7⁽¹¹⁾ Dm7⁽¹¹⁾ Bm7^(♭5,11) E7^(♭9,11,♭13)

Amadd9 Am7⁽⁹⁾/G FMaj7^(9,13) E7^(♭9,♯9)

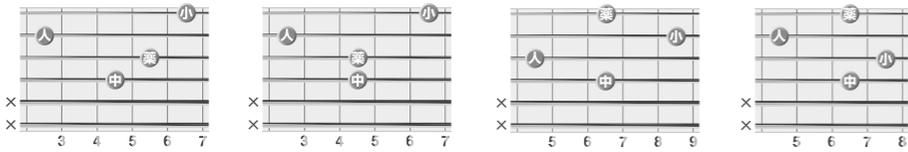
2小節目のDm7⁽¹¹⁾はなかなか見かけないフォームのはず。4小節目はE7のコード・トーンが6弦の5th=B音のみで、他はテンションというのが特徴。ギターだけ見るとF/Bコードとも呼べる。ラストE7は[♭]9thと[♯]9thを同居させたので、初めての方にとっては斬新極まりない響きかも。

▶ ヴォイシング6

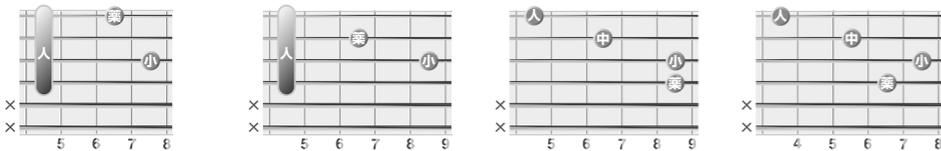
左手がつりそうな限界ストレスのフォーム

CD TRACK 41

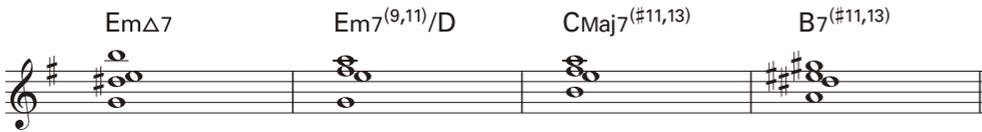
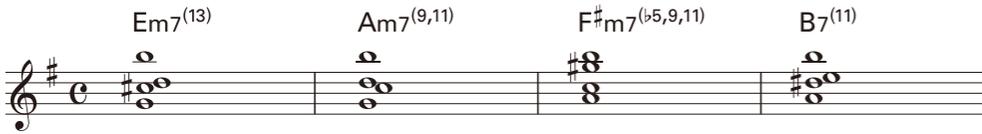
Key = Em



Em7⁽¹³⁾ Am7^(9,11) F#m7^(b5,9,11) B7⁽¹¹⁾



EmMaj7 Em7^(9,11)/D CMaj7^(#11,13) B7^(#11,13)



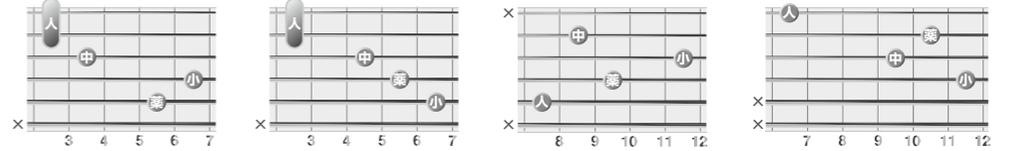
1~2小節目は3フレット・ポジションでのワイド運指なのでとムズいかも。3小節目のm7^(b5)に9thと11thを加えたフォームは斬新だが、ご覧のとおりワイド・ストレッチなので左手がつかないよう要注意。後半4小節目もしかしりだが、各ヴォイシングのスムーズな流れにも注目して欲しい。

▶ ヴォイシング7

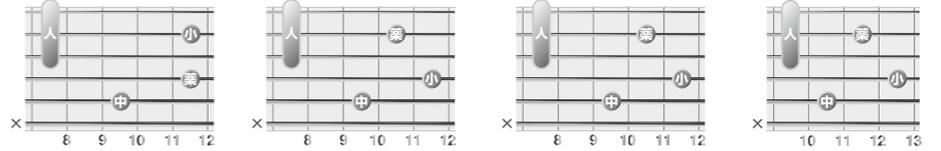
エリックもお手上げ(?)の連続5声ヴォイシング

CD TRACK 42

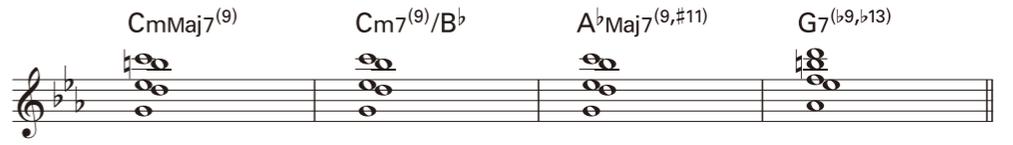
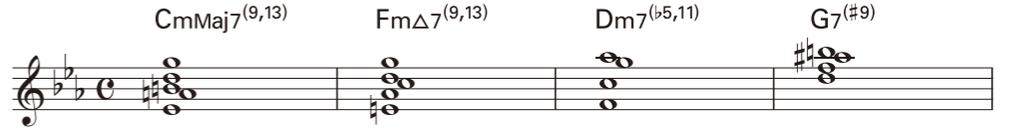
Key = Cm



CmMaj7^(9,13) FmMaj7^(9,13) Dm7^(b5,11) G7^(#9)



CmMaj7⁽⁹⁾ Cm7⁽⁹⁾/B^b A^bMaj7^(9,#11) G7^(b9,b13)



1小節目は1~3弦でGメジャー・トライアドが形成されている。4小節目は上の2音が3rd=B音と#9th=B^b音が半音でぶつかり合う気絶寸前(?)もののヴォイシング。最後のG7は、上の1~3弦がコード・トーンで、下の4&5弦がテンションという逆構造パターンによる和音構成が特徴的。